

困難を乗り越え未来へつなぐ

令和3年度の予算案をお知らせします

区長は、令和3年度当初予算案を第1回区議会定例会に提出しました。

予算は、歳出の抑制を図る一方で、新型コロナウイルス感染症への対応を進める編成としました。また、新しい基本構想・基本計画の検討状況を見据えながら、中長期的な視点を持って取り組みを進めます。

予算係／5階
☎(3228)8813
FAX(3228)5650



人・^{おも}想い・未来

施政方針と予算案に込めた思い 「つながるはじまるなかの」

区長 酒井直人

東日本大震災からまもなく10年。新型コロナウイルスの感染拡大がまだに予断を許さない状況です。改めて、震災や新型コロナウイルスで亡くなられたみなさんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。私は、大規模災害への備え、そしてワクチン接種を始め、新型コロナウイルス感染症への対応に全力を尽くすとともに、将来を見据えた区政運営を進めていく決意を新たにしています。現在、中野区が区民のみなさんと検討してきた、10年後に目指すまちの姿を明らかにした新たな基本構想を中野区議会に提案しています。中野の歴史、文化、伝統、まちの魅力を大切に育みながら、人々が寄り添い、より豊かな暮らしを実現するため、この基本構想を定め、みなさんと共有したいと考えています。

また、令和3年度中野区当初予算案についても、中野区議会で審議いただいています。この予算案は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい財

政状況が見込まれる中、抜本的な見直しを行い、歳出抑制をできる限り図る一方、感染症と政策課題に的確に対応し、困難を乗り越え未来へつなぐためのものとして編成しています。新規・拡充事業は、関連する事業の統合・再編や見直しなど、事業の構造改革に努めた上で予算化する一方、中野区が目指す「子育て先進区」、地域包括ケア体制、活力ある持続可能なまち、それぞれの実現に向けた予算となっています。更に、新型コロナウイルス感染症への対策を進め、強化する予算です。

年頭に申し上げた通り、私は、必ずや危機を乗り越える「良き年」とし、みなさんの中野への愛着と誇りを一層育んでいきたい強い思いです。一緒に中野の現在(いま)と未来(あす)を築いていきましょう。

区長施政方針説明の全文は
区HPでご覧になれます▶



新しい基本構想・基本計画

基本構想係／4階
☎(3228)5782 FAX(3228)5476

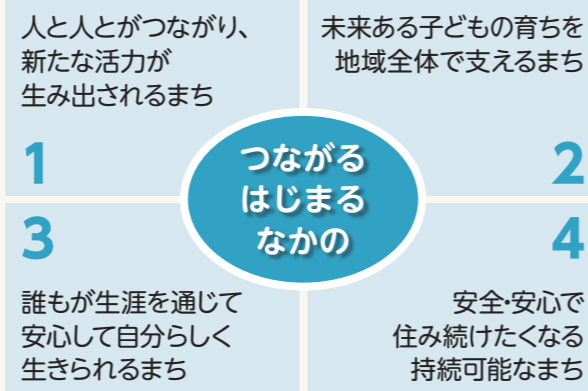
区は、10年後に目指すまちの姿を描く基本構想の改定に取り組んでいます。みなさんから意見をいただき、修正した検討案を現在開会中の区議会に提案。今月中に改定する予定です。

今後は、その実現に向けて5年間の基本計画を策定します。
☆基本構想・基本計画について詳しくは、区HPをご覧ください



こちらからアクセス▶

10年後に目指す「四つのまちの姿」



令和3年度当初予算案

☆金額等は表示単位未満で四捨五入しているため、合計などが一致しない場合があります

会計ごとの予算額

	令和3年度	令和2年度	差し引き	前年度比	
一般会計	1,472億4,100万円	1,468億2,300万円	4億1,800万円	0.3%	
特別会計	用地	18億5,900万円	5億1,200万円	13億4,700万円	263.1%
	国民健康保険事業	320億4,500万円	327億7,700万円	▲7億3,200万円	▲2.2%
	後期高齢者医療	71億4,300万円	72億3,700万円	▲9,400万円	▲1.3%
	介護保険	232億7,800万円	239億8,700万円	▲7億900万円	▲3.0%
合計	2,115億6,600万円	2,113億3,600万円	2億3,000万円	0.1%	

予算案の特徴

四つのまちの姿に沿った取り組みに重点

新しい基本構想で描く四つのまちの姿に沿った政策体系を想定して予算化しました。

四つのまちの姿は、4ページをご覧ください。



▲空から見た中野

感染症の拡大防止対策を強化

窓口対応等の感染症対策などに重点を置きました。また、みなさんが円滑に新型コロナウイルスワクチンの接種ができるよう引き続き環境整備等に取組みます。



▲ワクチン接種については8ページもご覧ください

子育てを応援

子どもの育ちを未来の希望として、子ども・若者支援センターの開設など、地域全体で子育てを支える取り組みを進めます。



▲安心して子どもを産み育てられる中野に

いつまでも住み続けられるための基盤を整備

ますます高齢化が加速する中で、病気や障害があっても、いくつになっても自分らしく生きられるまちを地域全体で築いていくための取り組みを進めます。

構造改革を進め持続可能な区政運営を実現

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活や経済は大きな影響を受けています。区の主な財源である特別区民税などは、大幅な減少が見込まれ、非常に厳しい状況です。

予算の編成に当たっては、新しい基本構想で描く10年後に目指すまちの姿の実現を見据えた新規・拡充事業への予算配分を行うために、集中的に事業の効率化・合理化等を検討しました。検討に当たっては、八つの視点を設定し、経常的な事業や業務の手法の見直しを行いました。

今後は、中長期的な視点に立ち、施策・施設・組織の三つの再編を視野に入れながら引き続き検討を深めます。また、構造改革実行プログラムを策定し、区民サービスの向上や業務の効率化を図ります。
☆構造改革について詳しくは、区HPをご覧ください
企画係 ☎(3228)3258・FAX(3228)5476へ

構造改革の八つの視点

- ① 公民役割分担の明確化
- ② 協働・協創による事業展開
- ③ 事業成果に基づく事業の縮小・廃止
- ④ 財政負担の大きい事業の見直し
- ⑤ 事業手法の選択
- ⑥ 職員配置の適正化、事業執行体制の見直し
- ⑦ 計画的な区有施設の配置と管理
- ⑧ 歳入確保の取り組み

構造改革についての
区HP▶

